

## L P ガス一般消費者事故集計表 (平成23年12月末現在)

※速報値のため、変更等があり得ます。

### 1. 年別及び月別事故(累計)件数

年 月	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
1月	11	17	6	8	55	20	17	17	14	39
2月	5 <u>16</u>	11 <u>28</u>	14 <u>20</u>	15 <u>23</u>	49 <u>104</u>	18 <u>38</u>	26 <u>43</u>	18 <u>35</u>	18 <u>32</u>	48 <u>87</u>
3月	9 <u>25</u>	8 <u>36</u>	10 <u>30</u>	15 <u>38</u>	8 <u>112</u>	25 <u>63</u>	22 <u>65</u>	17 <u>52</u>	17 <u>49</u>	16 <u>103</u>
4月	5 <u>30</u>	4 <u>40</u>	7 <u>37</u>	2 <u>40</u>	7 <u>119</u>	19 <u>82</u>	21 <u>86</u>	11 <u>63</u>	13 <u>62</u>	10 <u>113</u>
5月	11 <u>41</u>	10 <u>50</u>	11 <u>48</u>	6 <u>46</u>	11 <u>130</u>	18 <u>100</u>	14 <u>100</u>	13 <u>76</u>	12 <u>74</u>	13 <u>126</u>
6月	8 <u>49</u>	12 <u>62</u>	5 <u>53</u>	6 <u>52</u>	11 <u>141</u>	18 <u>118</u>	10 <u>110</u>	18 <u>94</u>	16 <u>90</u>	25 <u>151</u>
7月	10 <u>59</u>	10 <u>72</u>	10 <u>63</u>	6 <u>58</u>	18 <u>159</u>	18 <u>136</u>	25 <u>135</u>	20 <u>114</u>	22 <u>112</u>	4 <u>155</u>
8月	6 <u>65</u>	9 <u>81</u>	11 <u>74</u>	4 <u>62</u>	19 <u>178</u>	21 <u>157</u>	19 <u>154</u>	11 <u>125</u>	17 <u>129</u>	20 <u>175</u>
9月	6 <u>71</u>	8 <u>89</u>	7 <u>81</u>	4 <u>66</u>	11 <u>189</u>	17 <u>174</u>	14 <u>168</u>	15 <u>140</u>	16 <u>145</u>	8 <u>183</u>
10月	5 <u>76</u>	12 <u>101</u>	10 <u>91</u>	6 <u>72</u>	10 <u>199</u>	22 <u>196</u>	20 <u>188</u>	17 <u>157</u>	20 <u>165</u>	14 <u>197</u>
11月	7 <u>83</u>	8 <u>109</u>	6 <u>97</u>	9 <u>81</u>	9 <u>208</u>	20 <u>216</u>	26 <u>214</u>	17 <u>174</u>	24 <u>189</u>	12 <u>209</u>
12月	7 <u>90</u>	11 <u>120</u>	8 <u>105</u>	24 <u>105</u>	11 <u>219</u>	23 <u>239</u>	20 <u>234</u>	11 <u>185</u>	15 <u>204</u>	17 <u>226</u>
合 計	90	120	105	105	219	239	234	185	204	226
対前年比 (%)	+ 3.4	+ 33.3	▲ 12.5	±0.0	+ 108.6	+ 9.1	▲ 2.1	▲ 20.9	+ 10.3	+ 10.8

[注] 1. 下線部分は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得ます。  
2. 平成23年における雪害に起因する事故は、12月現在で50件となっております。

## 2. 年別事故件数及び死傷者数

年 項目	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
件数	90	120	105	105	219	239	234	185	204	226
うちB級 以上事故	3	9	6	1	2	5	4	8	6	4
死者(人)	4	7	2	1	0	4	4	4	5	2
傷者(人)	64	86	88	58	78	98	79	148	83	90
うちB級 以上事故	8	6	18	0	5	10	1	73	10	17

[注] 23年は12月までの累計。速報値のため、変更等があり得ます。

## 3. CO中毒事故(酸欠事故は除く)年別事故件数及び死症者数

年 項目	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
件数	8	9	6	10	5	11	6	14	8	10
うちB級 以上事故	2	4	1	1	0	3	2	6	3	3
死者(人)	4	4	0	1	0	2	2	3	3	1
症者(人)	18	17	21	22	13	29	8	85	16	32
うちB級 以上事故	1	1	7	0	0	9	0	65	7	16

[注] 23年は12月までの累計。速報値のため、変更等があり得ます。

#### 4. 原因者別事故件数

年 項目	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
一般消費者等起因	28	33	33	31	23	66	77	49	83	65
うち 点火ミス、立ち消え	-	-	-	(11)	(11)	(21)	(15)	(9)	(33)	(19)
うち 不適切な使用	-	-	-	(8)		(14)	(35)	(22)	(23)	(12)
うち 誤開放	-	-	-	(5)	(5)	(11)	(14)	(7)	(11)	(19)
一般消費者等及びLPガス販売事業者等起因	8	11	6	7	16	16	4	8	7	11
LPガス販売事業者等起因	14	28	20	20	28	65	62	38	33	41
うち 腐食等劣化	-	-	-	(2)	(10)	(21)	(20)	(19)	(13)	(19)
うち 工事ミス、作業ミス	-	-	-	(3)	(9)	(19)	(17)	(10)	(9)	(10)
うち 容器交換時の接続ミス等	-	-	-	(6)	(2)	(13)	(13)	(4)	(6)	(12)
その他の事業者起因	5	2	7	13	37	50	41	35	31	16
うち 設備工事業者	(4)	(2)	(6)	(5)	(7)	(7)	(5)	(6)	(5)	(2)
うち 充てん事業者	(1)	(0)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(3)	(2)	(0)
うち 他工事業者	-	-	-	(5)	(15)	(18)	(19)	(16)	(17)	(13)
うち 器具メーカー	-	-	-	(2)	(14)	(23)	(14)	(10)	(7)	(1)
雪害等の自然災害	3	8	4	24	81	6	11	7	7	53
	-	-	-	-	(80)	(1)	(11)	(6)	(5)	(50)
その他*	18	12	17	2	16	14	8	8	8	12
不明	14	26	18	8	18	22	31	40	35	28
合計	90	120	105	105	219	239	234	185	204	226

[注] 23年は12月までの累計。速報値のため、変更等があり得ます。

※「その他」に分類された主たる原因者は、原因者が複合する場合、上記に分類されていない事業者等です。  
また、16年までは「その他」に他工事業者(水道工事業者、解体業者等)及び器具メーカーが原因の事故も含み  
なお、「雪害等の自然災害」の( )内は、雪害に起因する事故の件数です。

## 5. 場所別事故件数

年 項目	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
一般住宅	28	41	30	36	100	95	95	63	75	79
共同住宅	26	31	26	24	58	58	61	41	56	60
旅館	0	3	2	6	6	4	4	1	2	4
飲食店	12	10	19	21	18	31	28	43	25	27
学校	3	3	4	1	3	7	4	3	10	7
病院	1	1	0	0	0	4	2	1	1	0
工場	3	0	1	1	0	2	1	3	4	1
事務所	0	4	2	2	7	3	4	3	2	2
その他	17	27	21	14	27	35	35	27	29	46
合計	90	120	105	105	219	239	234	185	204	226

[注] 23年は12月までの累計。速報値のため、変更等があり得ます。

## 6. 現象別事故件数

年 項目	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
漏えい	31	34	41	46	137	113	115	84	76	114
漏えい爆発等	51	77	57	48	57	64	53	45	60	57
漏えい火災※	-	-	-	-	19	51	60	42	60	44
CO中毒 酸欠	8	9	7	11	6	11	6	14	8	11
合計	90	120	105	105	219	239	234	185	204	226

[注] 23年は12月までの累計。速報値のため、変更等があり得ます。  
 19年からは、ガス漏れのない火災は事故件数から除きます。  
 ※17年までの「漏えい火災」は、「漏えい爆発等」の内数とします。

7. 発生箇所別事故件数

項目	年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
	供給設備	容器、 容器バルブ	9	13	10	9	8	13	14	18	12
調整器		6	13	9	12	60	22	21	14	9	28
高圧ホース 集合装置 ガスメータ		8	8	6	7	19	18	26	9	15	20
バルク貯槽 バルク容器 附属機器等		0	3	3	2	8	14	4	4	3	4
供給管		8	11	17	20	33	35	28	30	27	38
内埋設管		4	3	10	9	15	20	23	19	13	13
その他		4	0	2	0	3	5	1	4	3	1
計		35	48	47	50	131	107	94	79	69	99
消費設備	配管	6	3	5	7	14	7	15	11	15	29
	内埋設管	5	1	2	3	2	1	8	5	5	6
	末端ガス栓	3	7	5	3	11	18	22	11	14	18
	金属フレキシ管 低圧ホース ゴム管等	13	9	4	7	15	15	19	16	27	18
	こんろ	7	10	9	5	3	13	10	7	11	6
	炊飯器	2	2	0	0	0	2	1	1	2	1
	レンジ オープン	2	1	1	1	1	3	3	2	1	0
	瞬間湯沸器	5	5	4	7	11	5	7	7	6	11
	ふろがま	8	11	6	6	9	32	27	17	22	16
	ストーブ	1	0	1	0	0	3	1	0	5	1
	業務用 燃焼器	2	6	12	15	8	28	29	24	28	24
	その他の 燃焼器	0	1	0	0	0	1	0	4	0	0
	その他 (不明)	4	8	2	2	9	2	2	2	0	1
	計	53	63	49	53	81	129	136	102	131	125
その他	1	0	2	0	3	2 (1)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	
不明	1	9	7	2	4	1	2	3	4	2	
合計	90	120	105	105	219	239	234	185	204	226	

[注] 23年は12月までの累計。速報値のため、変更等があり得ます。

なお、本表は事故発生箇所を分類したものであって、必ずしも各々の器具等の不具合によるものではありません。「その他」の( )内は充てん設備によるものです。

19年からは、項目名の「ゴム管」を「金属フレキシ管、低圧ホース、ゴム管等」に修正し、末端ガス栓と燃焼器を接続する器具等を分類しています。

(参考 1)

項目	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
全事故件数	90	120	105	105	219	239	234	185	204	226
消費設備に係る事故件数	53	63	49	53	81	129	136	102	131	125
消費設備に係る安全器具設置先事故発生件数	23	33	29	39	44	42	43	35	47	26
うち B級事故件数	0	2	2	1	0	1	1	2	2	0
うち CO中毒事故件数	0	2	1	1	0	0	1	2	1	0

[注] 23年は12月までの累計。速報値のため、変更等があり得ます。

消費設備に係る安全器具設置先事故発生件数	26 件の内訳
・ 燃焼器具の立消え、点火 …	3 件
・ 燃焼器具の器具栓閉め忘れ、誤開放等 …	1 件
・ 燃焼器具の異常燃焼 …	1 件
・ 燃焼器具の修理ミス等 …	0 件
・ ふろがまの空だき …	0 件
・ CO中毒・酸欠 …	3 件
・ 末端ガス栓の誤開放等 …	9 件
・ 配管の損傷・腐食・接続不良 …	5 件
・ ゴム管の接続不良 …	1 件
・ ゴム管の損傷 …	2 件
・ ふろがまの経年劣化 …	0 件
・ 金属フレキ管接続ミス・接続不良 …	0 件
・ 末端ガス栓の腐食 …	1 件
・ 末端ガス栓の接続工事不良 …	0 件
・ 不明 …	0 件
・ 設備工事中の作業ミス等 …	0 件

(参考 2)

## B 級 事 故 発 生 状 況 (平成23年12月31日現在)

発生日	発生場所	現象	被害状況	建 物	原 因 等
1月2日	長崎県 対馬市	CO中毒	軽症10名	一般住宅 木造 1階建	旅館において、宴会場で飲食中の団体客26名のうち10名が体調不良を訴え、搬送先の病院で一酸化炭素中毒と診断され、治療を受けた。 原因は、宴会場に隣接したボイラー室に設置されていたボイラーのバーナーを交換した際に、調整不良により空燃比のずれが生じたため、高濃度(1170ppm)の一酸化炭素が発生しており、何らかの要因により、一酸化炭素を含む排気が天井裏を伝い、宴会場に流入したものと推定される。
5月21日	北海道 札幌市	CO中毒	死亡1名	寮・寄宿舎 鉄筋コンク リート造 4階建	寮において、従業員が出勤してこないため他の従業員が確認に向かったところ、1名が倒れており、通報により駆け付けた消防により死亡が確認された。また、従業員が室内に入った際、台所の給湯器は点火状態で湯が流れており、軽い頭痛と吐き気を感じた(病院にはかかっていない)。原因は、給湯器に異常はなく、換気扇が故障し、給気口がガムテープで目張りされていたことから、給排気不足により不完全燃焼が発生し、一酸化炭素を含む排気が屋内に滞留したものの。なお、20日深夜～21日にかけて、上階に入居していた従業員が頭痛を感じ、窓を開けて換気を行ったとのことから、長時間燃焼器を使用していたと推定される。
8月11日	福岡県 豊前市	CO中毒	軽症6名	その他(工 場食堂) プレハブ造	工場食堂において、厨房責任者が気分が悪いと社内保健師に訴え、病院で6人が診察した結果、一酸化中毒と診断された。 原因は、厨房内のラーメン釜の排気筒が腐食して落下し、排気経路を塞いだため、不完全燃焼により一酸化炭素を含む排気が発生し、更に、厨房の換気設備のスイッチが入っていなかったことから、室内に一酸化炭素を含む排気が滞留し、一酸化炭素中毒となったもの。
11月13日	沖縄県 宜野湾市	漏えい 爆発・火災	死者1名 軽傷1名	共同住宅 鉄筋コンク リート造	共同住宅において、住戸内でガスが漏えいし、爆発火災事故が発生した。 原因は、ガスこんろと末端ガス栓をつなぐゴムホースが刃物のようなもので切断され、ガス栓が半分開いた状態になっていたことから、ホースの切断面から漏えいしたガスに何らかの火が引火し、爆発したものと推定されるが故意による事故の可能性を含め現在調査中。

## (参考 3)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年		16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
北海道	11	23	21	24	20	15	16	29	岡山	0	0	2	6	7	4	3	6
青森	0	2	9	2	4	3	3	7	広島	3	2	6	6	6	5	8	6
秋田	0	5	36	4	6	1	5	3	鳥取	1	0	2	2	4	4	1	4
山形	0	1	13	2	5	2	0	7	島根	2	0	2	1	3	1	2	1
岩手	0	2	7	4	8	2	2	22	山口	3	0	2	3	2	3	5	5
宮城	3	4	1	8	5	4	8	0	中国地域	9	2	14	18	22	17	19	22
福島	4	3	2	5	2	4	2	7	香川	2	0	2	4	0	3	7	5
東北地域	7	17	68	25	30	16	20	46	愛媛	1	1	2	4	1	1	3	1
栃木	2	0	4	4	1	4	5	2	徳島	1	0	2	2	2	0	2	0
茨城	3	0	6	6	3	5	10	8	高知	1	1	1	1	1	1	3	0
群馬	0	1	2	2	5	3	3	0	四国地域	5	2	7	11	4	5	15	6
埼玉	7	4	9	27	16	9	8	8	福岡	3	3	3	6	10	8	1	4
東京	6	3	3	16	7	11	13	15	佐賀	1	0	0	2	4	5	4	2
千葉	3	1	8	15	18	13	10	9	長崎	0	2	3	5	10	4	4	4
神奈川	7	5	10	13	18	9	15	10	熊本	4	2	4	2	5	3	3	3
新潟	1	6	6	3	2	3	3	8	大分	1	1	0	2	1	2	1	0
長野	8	4	7	5	0	2	2	8	宮崎	1	1	0	0	2	2	3	2
山梨	0	0	3	0	1	5	1	0	鹿児島	3	2	2	2	2	5	2	4
静岡	1	3	1	7	7	1	4	2	九州地域	13	11	12	19	34	29	18	19
関東地域	38	27	59	98	78	65	74	70	沖縄	0	1	5	4	3	5	3	3
愛知	6	1	10	7	3	7	11	6	全国合計	105	105	219	239	234	185	204	226
岐阜	1	1	5	7	7	3	3	2	[注] 速報値のため、変更等があり得ます。								
三重	2	0	1	1	1	3	1	2									
富山	0	1	2	4	1	1	4	1									
石川	3	0	3	0	5	3	6	3									
中部地域	12	3	21	19	17	17	25	14									
福井	2	5	1	2	2	0	1	3									
滋賀	2	4	3	5	4	4	2	3									
京都	2	3	4	5	3	3	2	3									
奈良	0	1	0	2	1	2	2	0									
和歌山	1	1	1	0	3	2	1	0									
大阪	1	2	0	4	5	2	4	1									
兵庫	2	3	3	3	8	3	2	7									
近畿地域	10	19	12	21	26	16	14	17									